



中尾 勝吉

小城市行政を行う  
上での抱負は

市長

小城市に人が集ってくる地域  
を目指す



**中尾** 小城市行政を行う上での抱負は。

**市長** 小城市をもっと進化させていく為には、常に現場にあると考えている。現場を大切にしながら3つの方針に沿って様々な施策を進めていく。

①安全・安心の地域づくり。  
②地域を支える産業の振興。  
③人にやさしい小城市づくり。

など色々な分野の施策を総合的に推進し、もっと住みやすい小城市を目指す。

**中尾** 小城市の財政は厳しいが、各団体への助成金は平等にカットするの

ではなく、公平な判断で助成金の見直しはできないか。

**市長** 小城市の市民生活の質の向上や、共に地域の絆を深めるための活動をしたい。

いる事は、非常に重要な存在。個々の実態、現場の状況を聞きながら、また、個々の状況を見ながら個別に議論していく必要がある



▲子供達の健全育成を地域で活動する団体

るのは承知している。

様々な団体の活動をしつかりと支え現場の声などを聴きながら一緒に伴走していきたいと考える。



泉 万理江

地域の環境保全を  
どう考えていくか

市長

市民と協働し知恵を働かせ課題に向き合わねばならない



**泉** 一斉清掃の現状と課題について市はどのよう

に捉えているか。高齢化や担手不足により、清掃作業の負担が増している現状もあり、作業の効率化や負担軽減が必要ではないか。

**市民部長** 年2回の一斉

清掃では、地域の快適な生活環境の維持や、住民同士のコミュニケーションの場として重要な役割を果たしている。地域によっては高齢化などの課題もあり、無理のない範囲での作業や、作業内容の工夫は考えなければならぬ。今後、実態調査で市民の声を集め、地域の実情に合った一斉清掃

のあり方を検討していきたい。

**泉** ため池管理の現状と、管理者の高齢化や人手不足が深刻化し、特に草刈りなどの維持作業が大きな負担となっているが対応は。

**産業部長** 31か

所が防災重点ため池に指定。市は年1回全ため池を目視点検し、日頃の維持管理は各ため池の管理者に担ってもらっている。地域住民が日常的に関わることで、異変の



▲市内の防災重点ため池

早期発見や迅速な対応が可能である一方負担も大きい。今後はリモコン草刈り機の導入を進め、関係者と協議を重ね、地域の方が安全安心して利用できるよう適切な運用体制構築に努めていく。



赤松 貴子

観光協会に  
ついでの考えは

市長 再構築は「ゼロベース」から  
議論していきたい



**赤松** 観光行政について。

**市長** 交流を生み出し地域経済の活性化に繋げていくために観光はとても大切と思っている。

小城市ならではの地域資源を使いブランド化もしながら、いかに小城市にきていただくか、様々なコト、モノを市内外、県外にPRして認知度を上げていくか。また実際に来ていただいた時にいかにして小城市の物産を買っていただくか、実際に地域経済を回すにはどうやって繋げていくかが大切。

今の小城市の観光事業は十分に機能しているかという点必ずしもそうではない。市内部の体制も

観光協会も一緒。体制、対応をしっかりとっていくための仕掛けをつくっていくかねばならないと認識している。

失敗してもいいので、いろいろなことにチャレンジすることが産業振興にとって大切。一緒にやってこの地域を盛り上げていきたい。

観光協会への考えは。観光振興に取り組む本場に大切なパートナーであり、要請があれば市として再構築にしっかりと関わり、ゼロベースから議論していきたい。



▲より良い観光協会へ



中島 正樹

新市長として財政  
状況をどう考えるか

市長 外から見ると、さらに厳しい状況である



**中島** ふるさと納税による財源は、経常経費への財源振替ではなく、寄附者の意向も反映し、市民サービスの向上のために活用すべきではないか。

**市長** 不安定な財源なので、経常経費に充てるべきではないが、そうせざるを得ない状況でもある。今後は改善していきたい。

**中島** 芦刈観瀾校の改修費は国庫補助の対象にならないが、過疎債を充当されるが、合併振興基金を学校施設改修にも充当する計画を立てるべきではないか。

**市長** 現場を視察したが、厳しい地形で、切り拓くのは簡単ではないが、検討は必要である。

**財政課長** 経営戦略会議で協議、検討していく。

**中島** 小城市の運動公園計画跡地の活用について、市長はどのように検討しているか。

**市長** 市の負担が増えるので、購入できるものは購入した方がよい。

**中島** 三日月体育館の土地は昭和60年から借地契約となっているが、購入すべきではないか。



▲小城市の運動公園計画跡地



前田 博己

小城市が消滅しない  
ための取り組みは

市長

発想を変えて新たな対応



**前田** 令和6年度、日本の出生者数はとうとう70万人を割り込み68万6,061人であり、残念ながらこれは国の想定より14年も早く少子化が進んでいる事実を示している。その結果、令和6年度人口の自然減は91万9,237人で和歌山県1県分の人口と同じ数の減少。2040年、日本の社会保障費は190兆円に達するとの予測もある。19年前に財政破綻した夕張市はいまだに財政再建団体のままである。そこで、これから小城市の舵取り役を務められる南里市長に小城市が消滅しないための取り組みは。

**市長** これまでと同じ様な発想、やり方ではうまくいかない。前例通りはリスクだと思っている。発想を変えて新たな対応をしていくというのが一つ。もう一点大切なのは単純な縮小均衡の様な発想ではなく、本質的な部分を捉え、何を優先すべきか皆さんと議論しながら、積極的にチャレンジする。そういう姿勢で取り組んでいきたいと思っ

その他の質問

- 行政業務に対するAIの活用
- 遅れている公共施設の整理と統廃合
- 財源確保の取り組み



▲AIが生成した消滅自治体のイメージ



松並 陽一

牛津川遊水地の  
完成時期は

市長

時期は明言できないが、早期完成を目指す



**松並** 遊水地建設以外の水害対策の状況は。

**建設部長** 令和6年度末までに市内の牛津川流域の河道掘削は完了している。新屋敷地区の引き堤は現在も工事が継続中である。

公園や子育て施設の  
屋外遊具の維持管理

**松並** どのように維持管理しているのか。

調整する。

その他の質問

- 避難所の空調整備

牛津駅の利便性向上

**松並** 駅前広場のイベントスペースを駐車場として活用することはできないか。

**市長** 用途変更は難しいが、イベント時の一時的な駐車スペースとして利用できないか、研究していく。

**財政課長** 各担当課による定期的な目視確認や、委託業者による定期点検を行っている。修繕などは各担当課で検討、対応している。

**松並** 使用禁止のままになっている屋外遊具は、修繕か撤去の判断を早くすべきでは。

**総務部長** 適時対応できるように、庁内で



▲撤去を検討されている児童センターの木製遊具



深川 高志

### 小城市の産業振興について

市長

地域の産業振興はしっかりと取り組む



**深川** 今回の所信表明においても、小城市が元気になるべくするために地域を支える産業の持続的な発展が不可欠とされている。小城市長になれば、現在の小城市産業についてどのような認識を持っているのか。

**市長** いろいろな環境変化がある中で、産業を取り巻く環境というものも変わっている。それに対応して、地域の産業の皆様な様々な努力をされ、適応されていると承知している。そうした中で、一番の課題は、人材不足、そして後継者問題ではないかと思う。これは商工業も同じだが、農林水産

業も同じである。担い手をいかにして確保していくかが昨今の非常に大きな課題と承知している。地域産業の人材確保、後継者の確保に対する問題というのは、行政としてもしっかりと取り組む課題だと思

安全、安心な地域づくりのためにも、農林水産業であつたり商工業、建設業に従事されている皆様が地域にいらつしやる。だからこそ、命を守れ、

安全も守れるところもある。そういう意味で、地域の産業振興はとても大切なものだと思つている。



▲産業振興が求められる小城市



諸泉 定次

### eスポーツは高齢者の交流の場

市長

高齢者の交流・文化活動の環境と考えている



**諸泉** eスポーツは昨年9月議会で質問し、前向きな答弁で期待した。ところがなかなか事業として提案されない。市長の見解とどう対応されたのか。

**市長** eスポーツは健康・生きがい、何より交流や文化活動の一環である。市としても積極的に取り組んでいく。  
**福祉部長** eスポーツは認知機能の活性化や介護予防効果、さらに孤立の解消や生きがいづくりにもつながると注目されている。昨年度、実施している市町の状況を確認。

また、eスポーツのニーズ確認のため、高齢障がい支援課から小城市老人クラブ連合会にeスポーツの紹介と体験をしていただいた。  
小城市老人クラブ活動助成金で、e

スポーツの機器や講師の経費が支出可能なので、各老人クラブには補助金の活用を推奨している。  
また、老人クラブ連合会でeスポーツで使う機器を昨

年度2セット購入している。小城市ふれあいサロン事業の一部として、社会福祉協議会でeスポーツの機器の貸し出しができるよう準備をしている。



▲大町町での活用風景。男女とも同数が特徴だ



江島佐知子

これからの小城市  
づくりへの思いは



市長

現場を大切に、人の思いに誠  
実に取り組む

江島 所信表明で「安  
全・安心の地域づくり」  
「地域を支える産業の振  
興」「人に優しい小城市づ  
くり」の3つの方針を示  
されたが、

①小規模河川や農業用排  
水路も防災という視点で  
の整備が必要。また学校  
施設も防災の視点からの  
空調整備を考へるべき。

②地元産業の人材確保や  
後継者の課題への取り組  
みは、企業誘致は県との  
連携、空き店舗活用等で  
推進すべき。

③文化連盟の活動等に対  
して市としての支援は。

市長 ①水路について  
は、国、県と連携して計  
画的に整備していく。

教育部長 ①学校体育館  
は避難所として空調設置  
について検討していきた  
い。

市長 ②産業振興は商工  
会議所、商工会、JA、  
漁協、個々の事業者等と  
話をしながらサポートし  
ていく。

産業部長 ②企業誘致  
には、県首都圏事務  
所、関西・中京事務  
所の訪問等つながり  
を大事に取り組む。

商工観光課長 ②空き  
店舗をリスト化し、  
すぐ紹介できるよう  
な体制を取ることは  
必要。

市長 ①水路について  
は、国、県と連携して計  
画的に整備していく。



▲毎年開かれている小城市民文化祭

教育長 ③文化連盟は町  
単位の各支部を柱として  
市の文化振興に貢献され  
ている。まちづくりや地  
域のためにも関わってい  
ただいており、教育委員  
会も連携を図りながら共  
に小城市の文化振興に努  
めたい。

西 災害発生時には学  
校の体育館も利用され  
る。空調の設置率は、全  
国では18・9%との事  
だ。東京都では88・3%  
だが佐賀県は全国でワ  
スト3番目の0・7%と  
いう事だ。国は10年後ま  
でに95%設置への目標を  
掲げている。上限7千万  
円、補助率2分の1を準  
備してこの事業を進めて  
いる。小城市としても着  
手すべき時が来ていると  
考へるが。



西 正博

学校体育館へ  
空調設置の考へは



市長

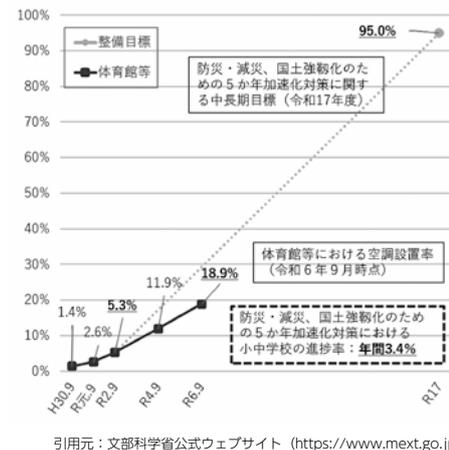
避難所の環境整備としても大  
事だと考へる

でも空調は目指すべき高  
い整備水準としての位置  
づけになるが、整備や維  
持管理には相当な事業費  
を要するようになるので、  
目的や用途を明確にし、  
学校施設の長寿命化など  
の計画に併せて検討し判  
断する。市内には災害対  
応で大人数が一度に避難  
できる空調のある施設は

不足している状況もある。

市長 県内学校体育館の  
空調整備率が非常に低い  
水準だと感じている。避  
難所の環境整備は大事な  
と考へる。使える有効な  
財源を活用できるように  
指示している。順次、やっ  
ていきたいと考へる。

教育部長 小・中学校体  
育館の空調整備について  
は教育環境整備や避難所  
としての環境対策の観点  
からも必要性は感じてい  
る。また、個別設計計画



▲公立小中学校空調設置の状況

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧ください。  
議録の設置及びホームページ掲載は9月上旬の予定です。



松尾 義幸

ハート形手水鉢  
ちようずばち  
40個以上の活用を

市長

コイの話と組み合わせ利活用  
することが大切



**松尾** 市長は小城市の観光をどう進めようと考えているのか。具体例を示し、それをどう活用するのか。

ふうに組み合わせながら物語をつくってアピールし、小城のブランドという形で見せていけないかと思う。

以上ある。これを活用してサイクリングやウォーキングを行ったらどうか。

**市長** 小城市には、全国に引けを取らない様々なすばらしい地域資源がある。私は4月に就任後、春雨まつりに参加、普茶料理も体験した。昨今は、蜚の關係でいろいろ現場にも行った。

**松尾** 小城市内には、江戸、明治、大正時代に作られたハート形手水鉢が、神社や観音堂に40個

**市長** 先程、コイの話をしたが、そういったものと組み合わせ、うまく利活用していくことが大切だと思う。

小城といえば梧竹さん。砥川の石仏、芦刈の住ノ江港の霧囲気は非常に好きだ。6月9日の蜚シンポジウムで、蜚のことをラブロマンスと表現された。小城市は鯉の里でもあり、何かそういう



▲小城市内にあるハート形手水鉢の一つ



満岡 利宏

小城市の  
水害対策は

市長

災害が少ない地域づくりを進めていく



**満岡** 出水期前の排水施設の点検・整備や安全確認は。

**建設部長** 操作員が月に1・2度点検を実施し、委託業者により年に2・3度点検を実施している。出水期前は、年度当初に業者点検を行い、各施設において、ライフジャケットやヘルメット、安全帯などを設置し、操作環境の確認をしている。

**総務部長** 大雨等により災害のおそれが高まった際、気象台と各自自治体とのウェブ会議が開催され、最新の気象の見通しなど防災対策支援が行なわれる。災害の

等の水位の急な上昇を抑え下流域の浸水被害を軽減させる。令和7年度小城市内での取り組みで、約80万トンの貯留効果が見込まれる。牟田部遊水地90万トンの約89%の貯水能力に相当する。

おそれがある場合、防災対策連絡室を設置し、防災行政無線、ホームページ、ラインやエアメールで避難を呼びかける。

**満岡** 災害発生時の情報収集と伝達

**満岡** 田んぼダムの効果

は。

**産業部長** 大雨時に排水口にV字カットした堰板を設置することで、河川



▲下流域の浸水被害を軽減させる田んぼダム



谷田 信二

三日月小学校のハト被害について



教育長 早急に学校と対応方法を協議し対応する

谷田 三日月小学校のハト被害の現状について。

教育長 昨年度から非常に増えている。学校と育友会の協力の下、ハト対策用のネットや剣山等の設置や対応をされている。しかし、今後その状況が悪化することが予想されるので、早急に学校と対応方法について協議し対応する。

小城市公共交通バスについて

谷田 令和7年4月より小城市公共交通バス利用ガイドを公表され運行しているが、問題と課題は。

市長 小城市の公共交通の維持、充実は市民生活の質の向上、維持していく意味で極めて重要と考えている。一方で、利用者の減少、最近では運転手が足りないなど様々な課題もある。地域の皆さんと一緒に持続可能な公共交通をつくり上げていく必要がある。

空き家について

谷田 特定空き家及び管理不全空き家の件数は。

建設部長 特定空き家はこれまで9件を認定しており、6件が所有者等により解体除去されている。



▲ハト被害の状況が悪化する学校施設

管理不全空き家として指導、勧告した空き家の件数は4件で、そのうち1件は、所有者が解体除去し、解決に至っている。

議会運営委員会 陳情・要望活動

議会運営委員会 陳情・要望活動

(期間)

令和7年5月14日～16日

(陳情・要望活動)

・河川激甚災害対策事業期間終了後の継続的な牛津川遊水地事業の整備促進について

議会運営委員会は、5月14日から16日まで、牛津川遊水地事業に対する引き続きの支援と、佐賀唐津道路(国道203号)

の早期着工について、国土交通省への要望活動を行った。

14日に国土交通省古川康副大臣を訪問し、15日には吉岡幹夫事務次官、水管理・国土保全局藤巻浩之局長、井崎信也次長、治水課笠井雅広課長を訪問し、直接要望を行った。

その後、衆議院第2議員会館において、道路局環境安全・防災課 交田晃基課長補佐、国道・技術課 大西宵平企画専門官、八反田周吾舗装係長から、佐賀唐津道路整備における説明を受け、意見交換を行った。

